

薩摩半島沿岸から得られた鹿児島県本土初記録のカスリイシモチ

大井真人¹・糸野楓一²・本村浩之³

¹ 〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4-50-20 鹿児島大学水産学部

² 〒 811-3304 福岡県福津市津屋崎 4-46-24 九州大学大学院生物資源環境科学府

³ 〒 890-0065 鹿児島市郡元 1-21-30 鹿児島大学総合研究博物館

はじめに

テンジクダイ科魚類 Apogonidae は日本近海から 26 属 107 種が知られており (本村, 2024), ヒトスジイシモチ属 *Pristiapogon* Klunzinger, 1870 はユカタイシモチ *P. exostigma* (Jordan and Starks, 1906), ヒトスジイシモチ *P. faenatus* (Valenciennes, 1832), カスリイシモチ *P. kallopterus* (Bleeker, 1856) およびスミヒキイシモチ *P. taeniopterus* (Bennett, 1836) の 4 種が記録されている (Abe et al., 2023).

2024 年 7 月 7 日に著者らが行った調査により, 鹿児島県南さつま市坊津町から 1 個体のカスリイシモチが採集された. 本種は国内において茨城県, 小笠原諸島, 伊豆諸島, 和歌山県, 高知県, 宮崎県, および大隅諸島以南の南西諸島から報告されているが (林・岸本, 1983; 林, 2000; Senou et al., 2006; 吉田ほか, 2011; Motomura and Harazaki, 2017; 吉田, 2018; 三木, 2019, 2021; Abe et al., 2023; Motomura, 2023; 本村ほか, 2024; 外山ほか, 2024; 橘ほか, 2024), 今回の採集調査により, 新たに鹿児島県本土から記録されたのでここに報告する.

材料と方法

標本の作製, 登録, 撮影, および固定方法は本村 (2009) にしたがった. 計測方法は Fraser (2005) にしたがった. 計測はデジタルノギスを用いて 0.1 mm 単位までおこなった. 標準体長 (standard length) は体長と表記した. 本研究に用いた標本は鹿児島大学総合研究博物館 (KAUM) に保管

されており, 生鮮時の写真は同館のデータベースに登録されている. 本報告で用いた研究機関略号は上述の KAUM と KPM (神奈川県立生命の星・地球博物館) である. KPM の資料番号は同館のデータベース上では 0 を含めた 7 桁の数字で表記されるが, 本報告では実質的な有効数字で表記した.

結果と考察

Pristiapogon kallopterus (Bleeker, 1856)

カスリイシモチ (Fig. 1)

標本 KAUM-I. 199860, 体長 90.9 mm, 鹿児島県南さつま市坊津町久志 (31°18'06"N, 130°13'16"E), 水深 4 m, 釣り, 2024 年 7 月 7 日, 糸野楓一.

同定 本研究で使用した 1 標本は体が側扁し, 体側の鱗縁が褐色であること, 体側中央に吻端から体側後方まで達する瞳孔よりも幅広い 1 暗褐色縦帯があること (生時は不明瞭: Fig. 1A), 体長が体高の 2.8 倍であること, 上顎後端が眼の後縁直下に達しないこと, 第 1 背鰭が 7 棘であること, 第 1 背鰭第 1-3 棘間の鰭膜が黒色であること, 腹鰭前方の鰭膜が暗色で, 後方の鰭膜は淡赤色の半透明であること, 臀鰭基底部分が黒色で (生時は透明: Fig. 1A), 先端部の鰭膜は黄褐色であること, 尾鰭の鰭膜が黒みを帯びていること (生時は淡い: Fig. 1A), および尾柄後端中央部よりやや上方に 1 暗色斑があることが林・岸本 (1983), 吉田ほ

Oi, M., F. Kumeno and H. Motomura. 2024. First record of *Pristiapogon kallopterus* (Apogonidae) from the Kagoshima mainland, Kyushu, Japan. *Nature of Kagoshima* 51: 189-192.

✉ MO: Faculty of Fisheries, Kagoshima University, 4-50-20 Shimoarata, Kagoshima 890-0056, Japan (e-mail: k1686451@kadai.jp).

Received: 5 December 2024; published online: 7 December 2024; https://journal.kagoshima-nature.org/archives/NK_051/051-040.pdf

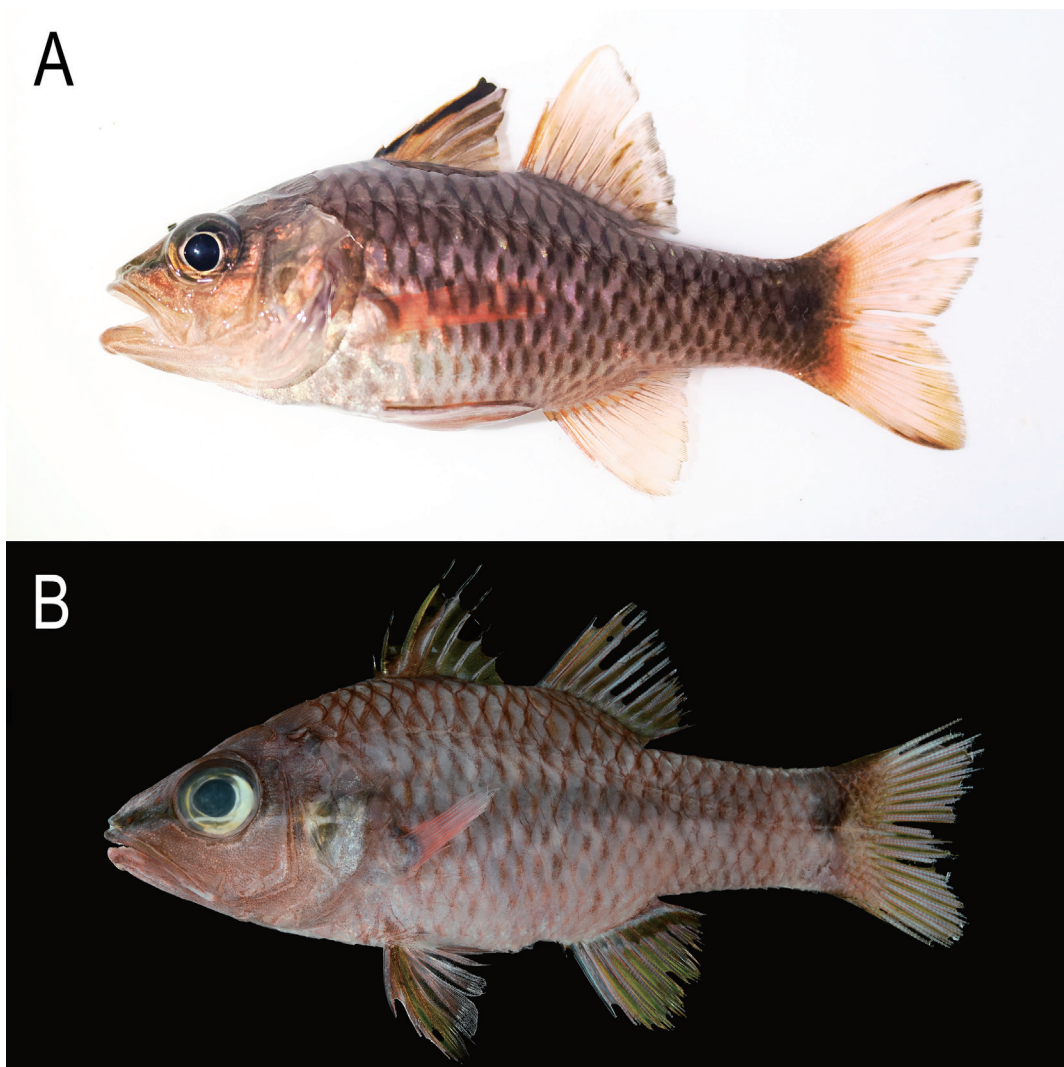


Fig 1. Live (A) and fresh (B) specimen of *Pristiapogon kallopterus* collected from Bonotsu, Minami-satsuma, south coast of the Satsuma Peninsula, Kagoshima Prefecture, Japan (KAUM-I. 199860, 90.9 mm SL).

か (2011), および林 (2013) が示したカスリイシモチの標徴に一致したため, 本種に同定された。

吉田ほか (2011) や林 (2013) は本種の第2背鰭基底から側線にかけて1鞍掛状暗色斑を有すると記載したが, 本研究に用いた標本にはこの斑が確認されなかった (Fig. 1). 林・岸本 (1983) はこの斑の有無について個体差があると言及しており, 本標本においても個体変異であると判断した。カスリイシモチは日本産の同属であるヒトスジイシモチとユカタイシモチから, 体長が体高の2.6–2.9倍であること (ユカタイシモチとヒトスジイシモチは3.1–3.3倍) と, 尾柄後端の黒斑が体側

にある縦帯の延長線の上方にあること (ヒトスジイシモチは延長線上の体側中央; ユカタイシモチはカスリイシモチと同様に上方) で識別される (林・岸本, 1983; 林, 2013)。

分布 本種はインド・太平洋に広く分布する (Gon and Randall, 2003; Allen et al., 2005; 馬淵ほか, 2015; Abe et al., 2023)。日本国内ではこれまでに茨城県, 伊豆諸島 (伊豆大島・八丈島), 小笠原諸島, 静岡県, 和歌山県, 高知県, 宮崎県, 大隅諸島 (硫黄島, 竹島, 黒島, 種子島, 口永良部島, 屋久島), 奄美群島 (奄美大島, 喜界島, 加計呂麻島, 徳之島, 沖永良部島, 与論島), 沖

縄諸島(伊江島, 沖縄島, 渡嘉敷島), 宮古諸島(下地島), 八重山諸島(石垣島, 西表島, 与那国島), および大東諸島(南大東島)から報告されている(Aoyagi, 1943; 林・岸本, 1983; Randall et al., 1997; 国安, 1999; 林, 2000; Senou et al., 2002, 2006, 2007; 吉郷・中村, 2003; 吉郷ほか, 2005; 渡井ほか, 2009; Yoshida et al., 2010; 吉田ほか, 2011; Koeda et al., 2016; 木村ほか, 2017; Nakae et al., 2018; Mochida and Motomura, 2018; 吉田, 2018; Fujiwara and Motomura, 2020; 三木, 2019, 2021; Jeong and Motomura, 2021; 萩原, 2022; Abe et al., 2023; Motomura, 2023; 本田ほか, 2024; 外山ほか, 2024; 橘ほか, 2024). 本研究により新たに鹿児島県本土から記録された。

吉田ほか(2011)はSenou et al.(2007)を引用して本種の分布に宮古島を含めているが, Senou et al.(2007)がカスリイシモチ(*Apogon kollopterus* Bleeker, 1856として)の宮古諸島における出現の出典とした情報はKPM-NR 64981, 68328であり, これらの産地情報は琉球列島宮古諸島下地島である(<https://fishpix.kahaku.go.jp/fishimage/index.html>; 2024年9月10日参照)。したがって, 宮古島からの本種の正式な記録はない。

備考 カスリイシモチの分布は「分布」の項に示した通りであり, これまでの九州以北の沿岸域における記録は茨城県, 伊豆諸島, 静岡県, 和歌山県, 高知県および宮崎県に限られていた。今回鹿児島県南さつま市から得られた個体は, 本種の鹿児島県本土沿岸初記録である。

本種の記録の多くは琉球列島である(分布の項を参照)。九州以北において本種が報告されている茨城県, 静岡県, 和歌山県, 高知県, 宮崎県および今回の研究で記録された鹿児島県本土周辺海域は, 黒潮の影響を強く受けるため, 本来低緯度域に分布する亜熱帯・熱帯性魚類が偶発的に輸送されることが知られている(例えば松尾・國島, 2021; 是枝・本村, 2022; 村瀬ほか, 2023; 外山ほか, 2024)。本種が鹿児島県本土にすでに定着し再生産しているかは明らかではないが, 九州以北における本種の記録は散発的であることを考慮すると, 今回得られた個体は仔稚魚期の段階で黒

潮によって南方域から偶発的に輸送されたものに起因すると考えられる。

謝辞

本研究を取りまとめるにあたり, 鹿児島大学総合研究博物館魚類分類学研究室のみなさまと同館のボランティアのみなさまには標本の作製・登録・管理にご協力いただいた。同研究室の是枝伶旺氏には原稿に対して適切な助言をいただいた。鹿児島大学アควアリウムサークル「クロミス」のみなさま, 九州大学農学部の奥川陽平氏, 酒井耀氏には採集調査にご協力いただいた。上記の方々に深く感謝する。

引用文献

- Abe, K., D. Sasaki, J. Maclaine and S. Kimura. 2023. First northwest pacific record of the apogonid fish, *Pristiapogon taeniopterus* (Actinopteri: Kurtiformes) from Minamidaito Island, Okinawa Prefecture, Japan. *Species Diversity*, 28: 117–122.
- Allen, G. R., C. Steene, P. Humann and N. Deloach. 2005. Reef fish identification – tropical Pacific. New World Publications Inc., Jacksonville. 457 pp.
- Aoyagi, H. 1943. Coral fishes. Part 1. Maruzen, Tokyo, 224 pp.
- Fraser, T. H. 2005. A review of the species in the *Apogon fasciatus* group with a description of a new species of cardinalfish from the Indo-West Pacific (Perciformes: Apogonidae). *Zootaxa*, 924: 1–30.
- Fujiwara, K. and H. Motomura. 2020. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Kikai Island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 259 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 14: 1–73.
- Gon, O. and J. E. Randall. 2003. A review of the cardinalfishes (Perciformes: Apogonidae) of the Rea Sea. *Smithiana*, 1: 1–48.
- 萩原清司. 2022. 横須賀市自然・人文博物館所蔵魚類資料目録(V) 横須賀市自然・人文博物館および相模湾海洋生物研究会収集奄美群島産魚類目録. 横須賀市博物館資料集, 46: 1–127.
- 林 公義. 2000. テンジクダイ科. Pp. 139–147, pls. 129–133. 益田 一・天岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫(編). 日本産魚類大図鑑. 第2版. 東海大学出版会. 東京.
- 林 公義. 2013. テンジクダイ科. Pp. 826–864, 1979–1986. 中坊徹次(編). 日本産魚類検索 全種の同定. 第3版. 東海大学出版会, 東京.
- 林 公義・岸本浩和. 1983. 西表島(琉球列島)産魚類III. テンジクダイ科(テンジクダイ亜科). 横須賀市博物館研究報告, 31: 15–46, pls. 2–8.
- 本田康介・瀬能 宏・和田英敏. 2024. 相模湾産魚類目録(改訂). 神奈川県立博物館研究報告(自然科学), 53: 127–218.

- Jeong, B. and H. Motomura. 2021. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of five islands of Mishima in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 109 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 16: 1–116.
- 木村祐貴・日比野友亮・三木涼平・峯苔 健・小枝圭太 (編). 2017. 緑の火山島 口永良部島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 200 pp.
- Koeda, K., Y. Hibino, T. Yoshida, Y. Kimura, R. Miki, T. Kunishima, D. Sasaki, T. Furukawa, M. Sakurai, K. Eguchi, H. Suzuki, T. Inaba, T. Uejo, S. Tanaka, M. Fujisawa, H. Wada and T. Uchiyama. 2016. Annotated checklist of fishes of Yonaguni-jima island, the westernmost island in Japan. *Kagoshima University Museum, Kagoshima*. v + 120 pp.
- 是枝伶旺・本村浩之. 2022. 薩摩半島から得られた北限記録となる熱帯・亜熱帯性ハゼ科魚類 3 種 (トサカハゼ, スタレウロハゼ, イワハゼ). *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 26: 4–17.
- 国安俊夫 (編). 1999. 生態系多様地域調査 (屋久島沿岸海域) 報告書. 環境庁自然保護局・鹿児島自然愛護協会, 鹿児島. 64 pp.
- 馬淵浩司・林 公義・Fraser, T. H. 2015. テンジクダイ科の新分類群体系に基づく亜科・族・属の標準名との提唱. *魚類学雑誌*, 62: 29–49.
- 松尾 伶・國島大河. 2021. 和歌山県串本町から採集された北限記録のミナミアエダイ *Lutjanus ehrenbergii*. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 6: 38–40.
- 三木涼平. 2019. カスリイシモチ. P. 103. 村瀬敦宣・三木涼平・和田正昭・瀬能 宏 (編). 宮崎県のさかなのまち 門川の魚図鑑. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター延岡フィールド, 延岡.
- 三木涼平. 2021. カスリイシモチ. P. 134. 村瀬敦宣・緒方悠輝也・山崎裕太・三木涼平・和田正昭・瀬能 宏 (編). 新・門川の魚図鑑: ひむかの海の魚たち. 宮崎大学農学部附属フィールド科学教育研究センター延岡フィールド, 延岡.
- Mochida, I. and H. Motomura. 2018. An annotated checklist of marine and freshwater fishes of Tokunoshima island in the Amami Islands, Kagoshima, southern Japan, with 214 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 10: 1–80.
- 本村浩之. 2009. 魚類標本の作製と管理マニュアル. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島. 70 pp.
- Motomura, H. 2023. An annotated checklist of marine and freshwater fishes from Tanega-shima and Mage-shima islands in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 536 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 20: 1–250.
- 本村浩之. 2024. 日本産魚類全種目録. これまでに記録された日本産魚類全種の現在の標準名と学名. Online ver. 26. (<https://www.museum.kagoshima-u.ac.jp/staff/motomura/jaf.html>; 2024 年 7 月 7 日参照)
- Motomura, H. and S. Harazaki. 2017. Annotated checklist of marine and freshwater fishes of Yaku-shima island in the Osumi Islands, Kagoshima, southern Japan, with 129 new records. *Bulletin of the Kagoshima University Museum*, 9: 1–183.
- 村瀬敦宣・渋谷風雅・長友伸二郎・緒方悠輝也・大衛亮正・本村浩之・瀬能 宏. 2023. 水中写真に基づく宮崎県南部沿岸域の魚類相とその生物地理学的組成. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 33: 33–114.
- Nakae, M., H. Motomura, K. Hagiwara, H. Senou, K. Koeda, T. Yoshida, S. Tashiro, B. Jeong, H. Hata, Y. Fukui, K. Fujiwara, T. Yamakawa, M. Aizawa, G. Shinohara and K. Matsuura. 2018. An annotated checklist of fishes of Amami-oshima Island, the Ryukyu Islands, Japan. *Memoirs of the National Museum of Nature and Science, Tokyo*, 52: 205–361.
- Randall, J. E., H. Ida, K. Kato, R. L. Pyle and J. L. Earle. 1997. Annotated checklist of the inshore fishes of the Ogasawara Islands. *National Science Museum of Nature and Science Monographs*, 11: 1–74.
- Senou, H., Y. Kobayashi and N. Kobayashi. 2007. Coastal fishes of the Miyako Group, the Ryukyu Islands, Japan. *Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science)*, 36: 47–74.
- Senou, H., H. Kodato, T. Nomura and K. Yunokawa. 2006. Coastal fishes of Ie-jima Island, the Ryukyu Islands, Okinawa, Japan. *Bulletin of the Kanagawa Prefectural Museum (Natural Science)*, 35: 67–92.
- Senou, H., G. Shinohara, K. Matsuura, K. Furuse, S. Kato and T. Kikuchi. 2002. Fishes of Hachijo-jima Island, Izu Islands Group, Tokyo, Japan. *Memoirs of the National Science Museum*, 38: 195–237.
- 橘 皆希・岡村恭平・松永 翼 遠藤広光. 2024. 高知県から得られたテンジクダイ科魚類 10 種. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 48: 55–63.
- 外山太一郎・棟方航平・山崎和哉. 2024. 茨城県から得られた北限記録の魚類 14 種. *Ichthy, Natural History of Fishes of Japan*, 48: 5–13.
- 渡井幹雄・宮崎佑介・村瀬敦宣・瀬能 宏. 2009. 慶良間諸島渡嘉敷島渡嘉志久湾の魚類相. 神奈川県立博物館研究報告 (自然科学), 38: 119–132.
- 吉田朋弘. 2018. テンジクダイ科. Pp. 113–142. 本村浩之・萩原清司・瀬能 宏・中江雅典 (編). 奄美群島の魚類. 鹿児島大学総合研究博物館, 鹿児島, 横須賀市自然・人文博物館, 横須賀, 神奈川県立生命の星・地球博物館, 小田原, 国立科学博物館, つくば.
- 吉田朋弘・藍澤正宏・本村浩之. 2011. テンジクダイ科魚類 7 種の屋久島における初記録. *Nature of Kagoshima*, 37: 119–125.
- Yoshida, T., S. Harazaki and H. Motomura. 2010. Apogonid fishes (Teleostei: Perciformes) of Yaku-shima Island, Kagoshima Prefecture, southern Japan. Pp. 27–64. In Motomura, H. and K. Matsuura (eds.). *Fishes of Yaku-shima Island – A World Heritage island in the Osumi Group, Kagoshima Prefecture, southern Japan*. National Museum of Nature and Science, Tokyo.
- 吉郷英範・市川真幸・中村慎吾. 2005. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (IV). 比和町立自然科学博物館標本資料報告, 5: 1–51.
- 吉郷英範・中村慎吾. 2003. 比和町立自然科学博物館魚類収蔵標本目録 (III). 比和町立自然科学博物館標本資料報告, 4: 31–75, pl. 1.